

令和03年9月（第3回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 木村 冬樹 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症への対策の現状は
 - (1) この地域でも中等症患者の入院制限はあるのか。
 - (2) 自宅療養者への対応は十分行われているのか。
 - (3) この地域での子どもへの感染増加は見られるのか。また、その対策はどうなっているのか。
- 2 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画にどう対応していくのか
 - (1) 個人情報保護法制の一元化や情報システムの共同化などのスケジュールはどうなっているのか。
 - (2) 「自治体におけるDX推進体制の構築」にどう対応していくのか。
 - (3) 本当に個人情報保護や市民サービスを堅持できるのか。
 - (4) デジタル化を理由に職員削減を行ってはならない。
- 3 スマートIC（インターチェンジ）は本当に必要なのか
 - (1) 3市長の合意の温度差はないのか。
 - (2) 市の財政負担も不明のまま突き進むのか。
 - (3) 公共施設は再配置していくのに道路整備は見直さないのか。
- 4 社会保障制度のさらなる充実を
 - (1) 8月からの介護施設に入所する低所得高齢者の食費・居住費の負担増の影響は。
 - (2) 子ども医療費助成制度の拡充を急ぐべきではないか。
 - (3) 子どもの入院時食事療養の標準負担額も助成できないか。
- 5 「いわくらしや水」の販売促進を
 - (1) 最新の売上数はどうなっているか。
 - (2) 販売戦略はあるのか。

2 水野 忠三 議員

- 1 市内のごみの不法投棄問題を問う
 - (1) 現状をどのように認識しているか。
 - (2) 現在、どのような対応がなされているか。
 - (3) 現行の法令等の規制はどのようになっているか。罰則規定を設けた条例等を新たに制定する必要はあるか。

- (4) 自律飛行型のドローンなどを活用して、不法投棄の抑止や監視ができないか。
- (5) 今後、どのような対策をさらに進めていくか。

2 コロナ禍における国民健康保険税減免の特例措置を問う

- (1) いわゆる「逆転現象」の存在など、「特例措置」自体に制度上の問題点があると考えるが、現状をどのように認識しているか。
- (2) 現時点で、本市における市民対応などに関して具体的な問題は生じているか。また、想定される課題についてはどうか。
- (3) 今後、市民から相談等を受けた場合、本市においてはどのような対応を行うことができるか。

3 本市の平和教育を問う

- (1) 現在、本市における平和教育はどのように行われているか。
- (2) 現在の国際情勢や日本を取り巻く平和に関する課題、現状等についての理解はどのように進められているか。
- (3) 平和の尊さとともに、平和を維持する取組や努力についての理解を深めることも大切と考えるが、どうか。
- (4) 本市における平和教育を今後、どのように進めていくべきか、教育長に見解を問う。

4 将来の財政に関する本市の課題を問う

- (1) コロナ禍の前・後での財政状況をめぐる変化、及び現状を問う。
- (2) 福祉目的の支出(扶助費)などの増減についてはどうか。
- (3) 医療費、後期高齢者医療費の増減についてはどうか。
- (4) 積立金と地方債・債務負担との差は改善されているか。
- (5) 公共施設等の今後の更新・修繕の費用は、現在の蓄えで足りるか。
- (6) 将来に向けて、今後の財政運営の方針を問う。

3 片岡 健一郎 議員

1 岩倉市主催・共催のイベントの今後について問う

- (1) 岩倉市が毎年、主催・共催している主なイベントはどのようなものがあるか。
- (2) コロナ禍において2年間様々なイベントを中止してきた。今後の在り方を考えるには今が良い機会と考えるが市の見解はどうか。
- (3) 継続、変更、廃止など様々な検討を関係団体・市民を交え来年度に向けてイベントの今後の在り方を考えてはどうか。
- (4) 市内事業者から見た岩倉桜まつりの今後の理想の形とは。

2 救命講習会について問う

- (1) 岩倉市における救命講習会の毎年の実施状況及び受講人数はどうか。

- (2) 救命講習の再受講状況はどうか。
- (3) 救命講習を受けても定期的に再受講をしないと有効な資格とはならないと考える。再受講を促すための施策を実施するべきと考えるが当局の見解を問う。
- (4) 応急手当のできる人づくりをさらに推進するため、小学生を対象とした救命入門コースや一般向けにe-ラーニングを活用した普通救命講習を検討できないか。

3 岩倉市内における今後のまちづくりについて

- (1) 川井野寄地区工業団地の進捗状況について問う。
- (2) 住宅系市街地拡大検討地区（稲荷町・川井町・井上町）の市街化編入推進についての見解を問う。
- (3) 桜通線をはじめとする岩倉駅東の開発について問う。
- (4) 一宮春日井線延伸の進捗状況について問う。
- (5) 岩倉市北部の産業系拡大検討ゾーンとスマートインターチェンジはどのように進めていくのか。
- (6) どれも重要な施策と考えるがどのような優先度で進めていくのか。

4 大野 慎治 議員

1 コミュニティスクールの導入について問う

- (1) コミュニティスクールの検討状況は。
- (2) 導入に向けて、どのような課題があるのか。
- (3) 教育長の見解は。

2 消防指揮車の購入の必要性について問う

- (1) 愛知県内の消防本部における指揮車の配備状況は。
- (2) 本市においても消防指揮車を配備するべきではないか。

3 脱炭素社会の実現に向けて問う

- (1) 国がカーボンニュートラルを目指すことを宣言したことへの見解は。
- (2) 環境基本計画への反映は。
- (3) 2050年ゼロカーボンシティの表明をする考えはあるのか。

4 市営大山寺住宅の在り方について問う

- (1) 建築後の経過年数が60年を迎える時期までに「廃止」を検討する計画に変わりはないか。
- (2) 市営大山寺住宅の廃止にあたり、市が家賃補助を行うなど、民間の賃貸住宅での代替の検討は進んでいるのか。

5 避難所等案内看板をいつまでに更新するのか

- (1) 避難所等案内看板は何か所あるのか。

- (2) すべて更新するための予算規模は。
- (3) いつまでに更新する計画なのか。

5 鬼頭 博和 議員

- 1 不登校の児童生徒を減らすための対策について
 - (1) コロナ禍により不登校の児童生徒は増えているのか。
 - (2) コロナ禍が原因で不登校となった子どもへの対応はどのようなか。
 - (3) いじめの実態調査はどのように行われているのか。
 - (4) 「いじめ予防授業」を全小中学校で行ってはどうか。
 - (5) 適応指導教室において登校復帰などの効果はどのようなか。
 - (6) 子どもの多様性に対応した「校内フリースクール」の開設を検討できないか。
- 2 若い世代のがん患者支援について
 - (1) 若年がん患者（18歳から39歳以下）で、自宅で介護サービスを利用している人はどのくらいいるのか。
 - (2) 若年がん患者の介護サービス利用料について助成はできないか。
- 3 公共施設へのWi-Fi整備推進について
 - (1) 現在、設置されている公共施設のWi-Fi利用状況はどのようなか。
 - (2) 市内高齢者施設（さくらの家、南部老人憩いの家）へのWi-Fi設置を進めるべきではないか。

6 梅村 均 議員

- 1 下水道事業の将来展望は
 - (1) 現状の下水道整備率と今後の整備計画は。
 - (2) 経費回収率改善に向けた検討状況は。
 - ① 大口町の経費回収率をどう捉えているか。
 - ② 本市の経費回収率改善に向けた分析と検討状況は。
 - ③ 将来的に経費回収率100%の見込みは。
 - (3) 汚水処理原価を下げるための検討状況は。
 - ① 汚水処理費に占める維持管理費の割合は。
 - ② 愛知県が主体となって進めている共同汚泥処理体制とはどのようなものか。（本市への影響は。）
 - ③ 今後の原価を下げるための検討状況は。
 - (4) 商業目的の建設促進となるよう、岩倉駅東地区の整備を早めに行うべきではないか。

- 2 子ども目線での魅力発見で親子をターゲットにしたシティプロモーションと郷土愛の醸成を
- (1) これまでのシティプロモーションの取組と評価は。
 - (2) 市外へ周知する手段の現状は。
 - (3) 子ども目線での魅力発見で親子をターゲットとしたプロモーションを。
 - (4) アプリを使用したプロモーションをどう考えるか。
 - (5) 教育の観点から小中学生を対象としたまちの魅力発見や郷土愛醸成のためにどうか。（現状このような取組はあるか。）

7 須藤 智子 議員

- 1 介護保険制度を利用して働きやすい環境整備を
- (1) 市内の要介護者と要支援者の割合はどのようなか。
 - (2) 介護保険サービスを受けている人の割合とサービス内容はどのようなか。
 - (3) 介護者の事情を踏まえて相談に乗り、状況に合わせたサービスの利用になっているのか。
 - (4) 収入や資産が少ない家庭などを対象に「負担限度額認定制度」があるが、どのような制度なのか。
 - (5) このような介護保険制度を利用して、働きながら安心して家族の介護ができるように、周知に努めるべきではないか。
 - (6) 今年度から始まった「第8期岩倉市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき事業を行っているが、今後の動きはどのようなか。

8 井上 真砂美 議員

- 1 生理用品の配布に関して、女性の心身の健康・産褥期の公助について問う
- (1) 生理用品の配布状況はいかがか。
 - (2) 購入が困難な人という表現について、誰でも頂けるでは不都合があったのか。
 - (3) 困窮者支援につながっているのか。
 - (4) 古い防災備蓄用生理用品の状態はいかがか。
 - (5) 産褥期の公的支援はどのようなか。
 - (6) 困っている人の声を吸い上げる機能はどのようなか。
 - (7) 相談員は積極的な支援をどのように行っているか。
- 2 全国学力・学習状況調査から児童・生徒の問題点や支援策を探る
- (1) 実施人数、欠席者の実態はいかがか。
 - (2) 未実施者の今後の参加予定はいかがか。
 - (3) 調査から浮かび上がった問題点はどのようなものか。

(4) 相談や支援活動、今後の生活習慣や学習環境にどのようにつなげていくのか。

3 岩倉市に残っている古文書や民具、文化財の価値について問う

(1) 古文書・民具・文化財の管理状況はいかがか。

(2) 古文書・民具・文化財の価値の見極めはどのように行っているのか。

4 第5次岩倉市総合計画「住居系拡大検討ゾーン」について問う

(1) 良好な住宅市街形成とはどんなイメージか。

(2) 今ある住宅環境を大切にしているか。

(3) 「井上城」や「薬師堂」と関連付け、保存する方向で計画をすることはいかがか。

9 谷平 敬子 議員

1 子どもとネット環境について

(1) ネットトラブルを防ぐための、保護者への啓発や子どもたちへの指導はどのようなか。

(2) ネットの正しい使い方講座を行ってはどうか。

(3) 本市のいじめの認知件数は、どれくらいあるか。

(4) いじめ対策の本市の取組と課題はどのようなか。

(5) いじめ問題解決に向けてのアプリ導入について

2 がん患者に対するアピアランスケアについて

(1) 本市におけるアピアランスケアの取組はどのようなか。

(2) 医療用ウィッグ等の助成はできないか。

3 認知症対策について

(1) 「岩倉市認知症ケアパス」の配布場所と利用状況はどのようなか。

(2) 新しい認知症ガイドブックあるいはパンフレットの作成を求む。

(3) チームオレンジの本市の取組はどのようなか。

(4) 認知症予防の本市の現状はどのようなか。

(5) 電話で気軽に実施できる認知機能テスト導入を求む。

10 堀 巖 議員

1 障がい者が働きやすい環境整備を求める

(1) 岩倉市役所の雇用状況の実態はどのようなか。

(2) 民間事業所の雇用状況の実態はどのようなか。

(3) 聴覚障がい者に対する全国の先進的な支援策と岩倉市の状況はどのようなか。

(4) 手話言語条例の検討状況はどのようなか。

- 2 桜通線の今後について問う－下水道整備と電線の地中化を合わせたの整備を求める

11 梶谷 規子 議員

- 1 産前・産後ヘルプ事業を
 - (1) コロナ禍で里帰り出産ができない市民に支援を。
 - (2) 子育てしやすいまちとして導入すべき。
- 2 生理用品を公共施設・学校のトイレに常備を
 - (1) コロナ禍の中で「必要な人に無償配布」が行われての状況はどうか。
 - (2) 申し出て、受け取りに行けない人たちはどうするのか。
 - (3) 当たり前、常備する工夫を。
- 3 防災備蓄品の点検・充実を
 - (1) 消費期限のあるものの点検をどうしているか。
 - (2) 市役所にだけ設置され他の防災備蓄倉庫にないものは、他にないか。
- 4 配食サービスの食事をおいしいものに
 - (1) 配食サービスの推移はどのようか。
 - (2) 一期一会の撤退はなぜなのか。
 - (3) 高齢者にとっての「食」をどう考えるか。
- 5 核兵器廃絶平和都市宣言のまちとして
 - (1) 8月6日、8月9日のサイレンの復活を。
 - (2) 市役所北側の「核兵器廃絶平和都市宣言のまち」の看板を覆う木の剪定を。

12 黒川 武 議員

- 1 オープンデータについて
 - (1) オープンデータの取組について問う。
 - (2) オープンデータの活用について問う。
 - ① 活用事例はあるのか。
 - ② 犯罪の被害防止行動の喚起に活用してはどうか。
 - ③ 避難所情報の充実強化を。
 - ④ 防災啓発アプリを作成し、公開してはどうか。
 - ⑤ 「いわくらの統計」のオープンデータ化は可能か。
 - ⑥ オープンデータに関する効果、課題及び問題点について問う。
 - ⑦ 今後、どのような方向性をもって推進するのか。

2 防災対策について

- (1) 事前予防の災害対策や情報発信について問う。
- (2) 「道路冠水情報等の見える化」について問う。

3 都市農地について

- (1) 生産緑地の2022年問題について問う。
- (2) 今後の都市農地は、どうあるべきか。